

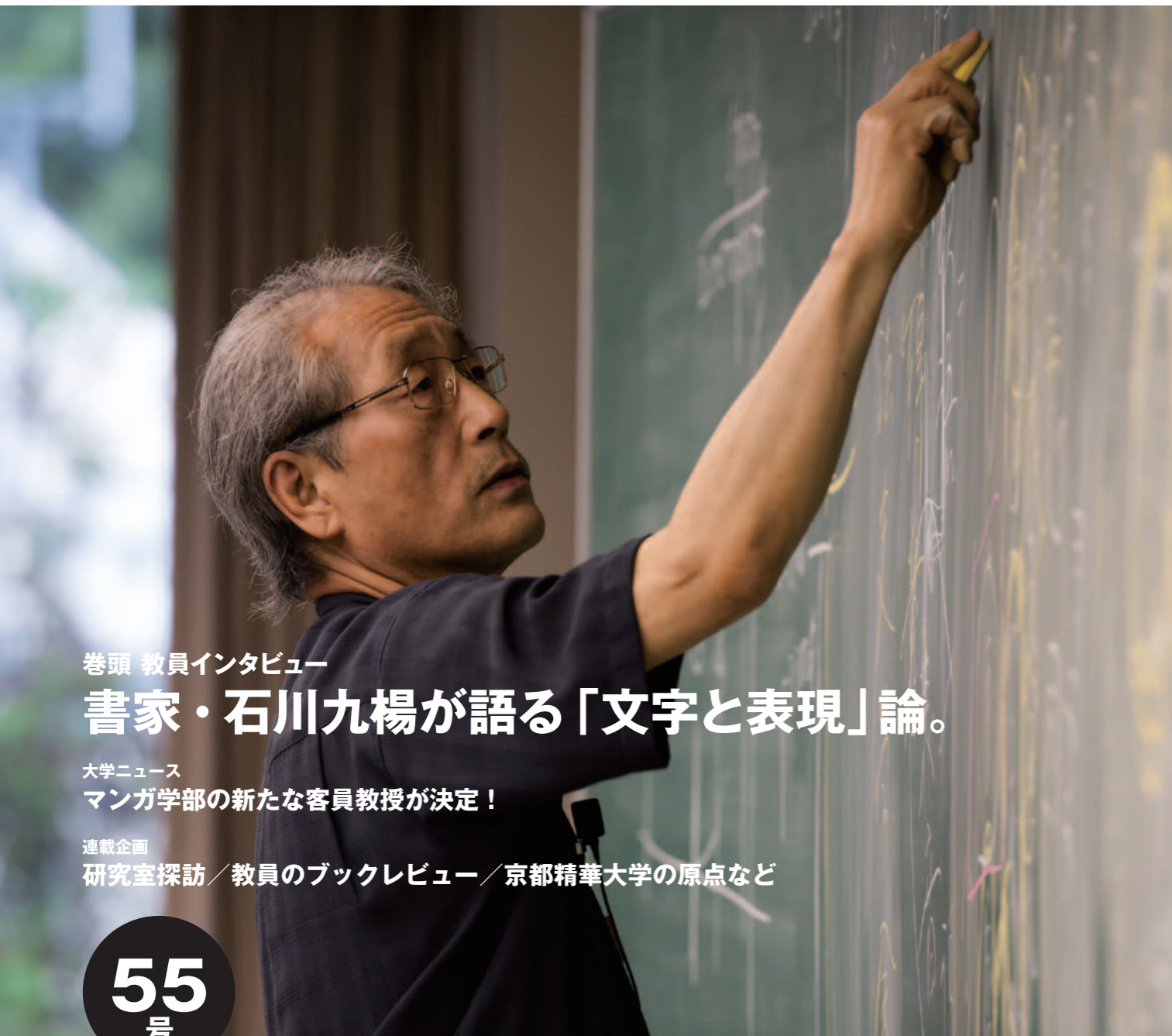
木野通信

KINO PRESS

KINO PRESS Issue 55 | 京都精華大学広報誌

木野通信

京都精華大学
AUGUST 2012 Issue 55



巻頭 教員インタビュー

書家・石川九楊が語る「文字と表現」論。

大学ニュース

マンガ学部の新たな客員教授が決定！

連載企画

研究室探訪／教員のブックレビュー／京都精華大学の原点など

55
号

特集 01 FEATURES 01

- 04 巻頭 教員インタビュー
書家・石川九楊が語る「文字と表現」論。
- 10 デザイン学部の「文字」の授業

特集 02 FEATURES 02

- 12 マンガ学部の新たな客員教授が決定！
みうらじゅん、東村アキコ、山田章博らが就任予定。

大学ニュース NEWS

- 14 アスタナ国際アクション映画祭に招待される／越後妻有アートトリエンナーレに参加／「第64回三軌展」で受賞 ほか
- 17 2011年度決算について／2012年度予算について

連載企画 REGULARS

- 20 研究室探訪 マンガ学部カートゥーンコース 篠原ユキオ先生の授業をレポート
教員のブックレビュー 芸術学部・北野裕之先生が選ぶ「僕のアメリカ滞在をより楽しくさせた」本
セイカ事典 発行
- 22 イベント紹介 人文学部主催講演会／大学院芸術研究科・特別講義／ギャラリーフロール展覧会 ほか
- 23 精華で学びたい方へ 2013年度入学試験／オープンキャンパス／資料請求について
- 24 京都精華大学の原点 第2回「岡本清一は京都精華大学に「自由自治」の旗を高く掲げた。」
- 26 ○○を語れ 第2回「表現」

京都精華大学 学部・学科・コース

■ポピュラーカルチャー学部※

- ◎ポピュラーカルチャー学科
音楽コース／ファッションコース

■芸術学部

- ◎造形学科
洋画コース／日本画コース／立体造形コース
◎素材表現学科
陶芸コース／テキスタイルコース
◎メディア造形学科
版画コース／映像コース

■デザイン学部

- ◎イラスト学科※
イラストコース
◎ビジュアルデザイン学科
グラフィックデザインコース／デジタルクリエイションコース
◎プロダクトデザイン学科
プロダクトコミュニケーションコース／ライフクリエイションコース
◎建築学科
建築コース

■マンガ学部

- ◎マンガ学科
ギャグマンガコース※／キャラクターデザインコース※／カートゥーンコース
ストーリーマンガコース／マンガプロデュースコース
◎アニメーション学科
アニメーションコース

■人文学部

- ◎総合人文学科

※ 2013年4月設置予定

縦に書け、縦に考えよ。 書家・石川九楊が語る「文字と表現」論。

現代を代表する書家、表現者にして、人間と書くこととその歴史研究に独自の理論を確立した研究者。そして、京都精華大学ではスタイル論を講ずる教育者。石川九楊氏は、あらゆる角度から書に向き合う。「命がけで線を引く」と評されるほどの熱意と気迫で、文字と言葉の本質を探究してきたからこそ語れる「表現」とは、「文明」とは、そして「自由」とは――。

縦に書け、縦に考えよ――。書家の石川九楊氏は言う。ワープロの爆発的普及以来、パソコン、携帯電話、さらにはスマートフォンやタブレット……情報端末の進化にともなって、横書きの文章があふれ、手で書く機会も激減した。ことにより、私たち日本人は重大なものを喪失しようとしている。そう警鐘を鳴らし続けている。単なる復古主義や様式美の話ではない。むしろ、家流制度の権威主義や定型のお手本に縛られた伝統書道の世界を批判し、時に「異端」、時に「孤高」と言われるほど、独創的かつ先鋭的な表現を確立してきたのが石川氏である。その主張の根幹には、長年にわたって考え抜き、たどり着いた「書くこと」の本質がある。たとえば、日本という国の成り立ちと東アジア文明の底流。そこに息づく人間や言葉についての考察。そして、「自由とは何か。表現とは何か」という根源的な問い。書家であると同時に、書字の理論的研究者として、『中國書史』『日本書史』『近代書史』の大作三部作をはじめ、数々の研究書を著してきた石川氏の知見と思索領域はあまりにも広く、深い。京都精華大学では、そのエッセンスに、ほんの一部ながら触れることができる。石川氏は精華の教

壇に立って約20年。現在は、デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授を務める。

7月のある日、「スタイル原論」の講義を聴いた。副題に「世界つまり人間は文体（スタイル）できている」とうたうこの授業で、石川氏はまさに、縦書きのススメを説いていた。

「東アジア文明圏の言葉は文字および書」主律型。それは漢字の構造から生まれてきた」

「漢字は一字が一語をなす特異な文字である。文字が言葉そのものであるかのようにふるまう」

「縦書きには重力が働く。重力とは天地の絶対性。だから縦書きは億劫で気が重い。だが自制と自省が働き、文章は締まる」

学生向けだからといって安易に噛み砕くこともなく、ゴツゴツと厳めしい言葉でストレートに語り、チョークで板書する。それを「横書き・デジタル」ネイティブ世代の、デザインを学ぶ学生たちが真剣な表情で耳を傾け、メモを取っている。新鮮な光景だった。

石川氏は学生たちに何を伝えようとしているのか。その言葉の何が彼らに響くのか。講義の終了後、書家としての歩みも振り返りつつ、語ってもらった。

「縦に書け」の深い意味

―興味深く講義をうかがいました。文明や言葉の根源から「縦書き」の必要を説くお話は、非常に説得力があります。

西欧は「縦に話し、横に書く」文化。これに対し、日本や中国、朝鮮半島などの東アジアは「横に話し、縦に書く」文化です。西欧の「縦に話す」とは、キリスト教の神に向かって言葉を発する、つまり神が会話を媒介するということ。どちらがいい悪いではなく、宗教観から来る世界のとらえ方の違いが本来的にあるんです。しかし、日本人が無自覚に横書きに染まっていく中で、「縦に考える」文化や人間関係まで失われようとしている。

横の関係は「共同」、縦の関係は「信・約束」。人間というのは縦・垂直と横・水平の交点に出現し、存在するもの。どちらか一方ではないんです。話すのも書くのも横ということになれば、自制や歯止めが効かず、勢いだけで突っ走る言葉ばかりになってしまふ。すると、やがて人間の考え方や社会のありようもそうなっていくんですね。

―親子や師弟など縦の関係を、封建的だと壊してきた戦後社会や、人間関係がフラットなネット社会

が問われている気もします。

戦後が一つの大きな転換点になったのは間違いないでしょう。アメリカの影響で役所の公文書が横書きに変わったのも敗戦後のことです。そして、1990年代にワープロやパソコンが普及して以降の変化も大きい。パソコンは通信機ではあっても、文字を書くための機械ではない。漢字を直に打ち込めないのが、何よりの証拠。情報通信の手段として端末に打ち込む記号と、思索を重ね、表現するために生み出す言葉は本来まったく別物なのに、そこが区別されず、政策や教育、人間関係にまで影響を及ぼしている。今のままでは、人間は通信端末の奴隷ですよ。こんなつまらないことはない。

ただ、まったく望みが無いわけでもない。一般の書籍はまだ縦書き・縦組みが主流です。その文化を日本人が手放さないでいる事実の中に、縦書きを見直す手掛かりがあると思います。

―完全に「横書き・デジタル」世代である学生の反応はどうでしょうか。

講義で紹介した「縦書きは気が重く億劫に感じるが、文章は締まり、理論的にまとまる」、逆に「横書きは気楽でスラスラ書けるが、引つ掛かりがなく、收拾がつかない」というのは、私がこれまで接してきた学生たちの感想です。この答え、最初はちょっと意外だったんですが、京都産業大学で同じ調査を続けておられる岩井勲夫先生も、やはり同じ結果を発表しておられます。

私の授業のレポートや提出物は「手書き、縦書きに限る。ワープロ不可」ですし、レジュメも私の鉛筆書きをコピーして配る。これが今の学生には新鮮に映るといってはあるかもしれません。

デザイン学部なので、学生たちはよくデッサンをします。最近鉛筆の硬度を細かく使い分けます。鉛筆でも、力の具合でいくらでも表現を変えられることを、実際にやってみたら、みんな感動していましたね。ある学生なんか、「うまく描けたこの指をこのまま持って帰りたい」と言っていましたよ(笑)

書と共に育った少年／青年期

―先生の歩みを少しお聞かせください。5歳から書塾に通い、8歳で師に入門されたそうですが、最初に書のおもしろさを感じたのは、いつ頃、どういった点に？

最初はもちろん、お手本を模写することから始めるわけですが、

ある程度書けるようになってくると、見た目には同じ、物理的に計測してもほとんど差はないのに、揺るぎない姿でピカピカ光り輝いている100点満点に近い字と、まるで問題外、自分の中では0点同然という字が出てくるんです。この差は、書いていくプロセスに誕生するほんとうにわずかな力加減の問題。そこには偶然との苦しい戦いがあります。うまくツボにはまって、心底から「できた!」と思える瞬間が大きな喜びでしたね。

その瞬間が訪れるまでは徒労の連続です。1枚書いては捨て、また1枚、さらに1枚……と延々繰り返す。たとえば体操選手の演技が、われわれ素人目には完璧に見えても、本人はまったく納得できないと言ったことがあります。それと同じこと。傍目にはよくできた「作品」で、展覧会に行儀よく並べられたとしても、自分が理想とする完成形を得られなければ意味がない。

―そういう経験から、早いうちに書を生涯の道と決められた、と。

いや、本格的に書と向き合い、「書とは何か」と考え始めたのはずっと後ですよ。もって世の中の役に立つ仕事をしよう(笑)、いちおう弁護士を目指して京都大学の法学部に入りましたから。

―「書とは何か」と考えたのはいつ頃、どういった点に？

最初はもちろん、お手本を模写することから始めるわけですが、

しかし、京大で書道部に入ると、ひたすら字を書く日々が始まりました。古典を勉強したり、現代詩を題材に書いてみたり、仲間たちと、さまざまな書家や当時の書壇(伝統的な書道界)について批評や議論をしたり。特に、吉本隆明や田村隆一、谷川雁といった人たちの現代詩をなんとか書にしたい、彼らの言葉を書でどう表現すればいいのかということをやると考え、試行しつづけました。

―今年3月の吉本隆明さんが亡くなった日に対論集「書文字アジア」も出版されましたね。現代詩の書は、古典とは全然違うものですか。

文字は言葉そのものですから、何を書くかによって、当然スタイルⅡ字体も変わってきます。詩に込められた思想や時代状況まで表せなければ、書にする意味はないわけです。杜甫や李白の漢詩なら、その時代に確立された伝統的な字体に、少し現代風のワザビを利かせれば、それなりにまとまる。けれども、現代詩となるとそうはいきません。

たとえば吉本に「けふからほくらは泣かない／きのふまでのように もう世界は／うつしくも

ある程度書けるようになってくると、見た目には同じ、物理的に計測してもほとんど差はないのに、揺るぎない姿でピカピカ光り輝いている100点満点に近い字と、まるで問題外、自分の中では0点同然という字が出てくるんです。この差は、書いていくプロセスに誕生するほんとうにわずかな力加減の問題。そこには偶然との苦しい戦いがあります。うまくツボにはまって、心底から「できた!」と思える瞬間が大きな喜びでしたね。



石川九楊作「くもしもおれが死んだら世界は和解してくれ」と書いた詩人が逝った』640mm×950mm、雁皮紙・墨 2012年5月

イルそのものが、思想を伝えるのですから。

ほんとうの「自由な表現」とは

―書道界の常識との闘い、字体・スタイルを獲得するための闘い。それはいわば、自由な表現を求める道程だったと思います。京都精華大学も「自由」や「表現」を理念に掲げていますが、今の時代、この言葉をどう見ていますか。

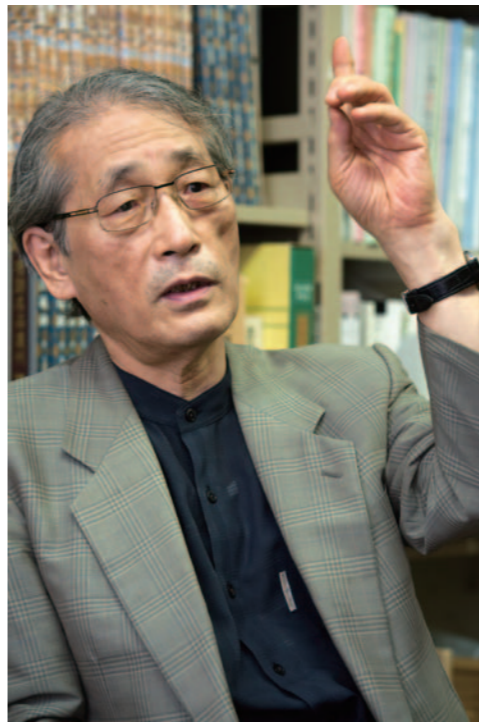
まず、自由というのは、何からの自由かという問題があります。私は、現代ほど個人が国家や企業に捕捉され、管理された不自由な時代はないと思っています。

街を歩けばあちこちに監視カメラ

ラがあり、銀行では10万円を超えて送金するだけで身分証明や書類への署名を求められる。カードで物を買えば、個人の消費行動や嗜好、いつ何を食べたかまで店や企業ひいては国家に把握されている。国民総背番号制も着々と進行している。先ほど、「端末の奴隷」と言いましたが、人間が情報技術に愚弄されている、にもかかわらず、それに気づいていない。そんなふう感じます。

こうした時代状況や社会に疑問を抱き、異を唱えたり、闘っていかなければ、現代においてほんとうの「自由な表現」なんてあり得ないと思いますね。

―表現に関して言えば、ネットをはじめメディアの多様化で、作品



精華に期待するもの

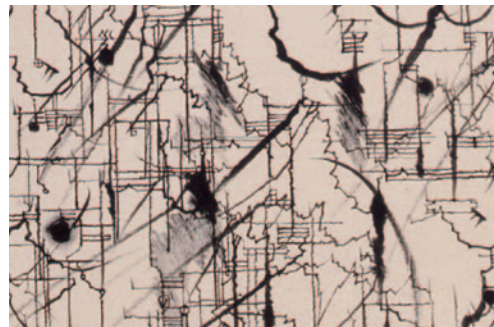
―そのために京都精華大学や学生たちが果たす役割とは何だと期待されますか。

この大学の良いところは、芸術・美術系の大学でありながら、人文学部を持っている点です。学部ごとの基本に「人間」と「文化」を置き、そこから芸術、デザイン、マンガという表現領域へ学部が構成されているでしょう。大学の理念として、人間・文化という求心力があるから、ファインアート、メインアートからサブカルチャーまで遠心力を発揮できる。そういう大学は他にあまりないんじゃないですか。

ここで学ぶ人たちには、先ほど



『中国書史』『日本書史』『近代書史』の三部作



石川氏の線 (P07 作品一部拡大)

制作の手法や発表の機会が広がっているようにも思えます。

いや、発達しているといつても、情報通信技術の分野と、自動車関連など交通の分野に偏しています。そこが発展するのは別に悪いことではないけれども、発達の形がいびつなんです。

たとえば住環境に目を向けてみると、工業製品のように規格化された集合住宅や狭い敷地に建つペンシルハウス……どころか、カミソリ住宅なんていうのも最近はあるのですが(笑)、そんな建物ばかり増える一方で、昔の住まいにあった指物(木を組み合わせた家具や建具)や細工物といった工芸技術はどんどん廃れていく。いやそれ以上に、くつろぎの家、やりがいのある仕事、将来・未来を信じて生きるために必要なモノやコトの方は痩せ細る一方です。

ゲームやネットなどのバーチャルな世界が肥大化する一方で、手を使ったり、微妙な感覚を働かせたりする技術や経験が軽んじられている。一見、自由に見える表現や文化というのが、人間の本質的な豊かさへ向かっていない。

―文字を書く行為もそうですよね。わが身を振り返っても、手書きが減るばかりか、文字入力ばかりがボードからタッチパネルへと変わっていく。技術は進化している

けれども、身体性が失われ、人間としては劣化しているのではないかと感じるがあります。

他の生物とは異なり、人間の触覚というのは直接と間接の二重性でできています。その両方から事物を認識し、対処するんです。たとえば、この机。手で直接触れば表面の温度や滑らかさがわかりますが、道具で間接的に触れる――棒でコッコツ叩いたり、針をギリギリ差し込んだりすることで、硬さや厚みを知っている。そういう直接と間接二重の触覚とともに人間の意識や言葉はある。

筆記具で文字を書く、農具で土を掘り起こす、刃物で木を削る。こうした道具を使う作業はすべて、直接・間接の触覚が起点になり、そこで得た感覚や認識が言葉の源になっていくんです。(動物としての)ヒトが、人間になっていく秘密がそこにあるといつてもいい。だから、触感が失われると、人間として貧しくなり、同時に言葉も痩せていく。特に、日本語は書字中心の言葉で、書く行為と考えることが深く結びついています。手書きが減るとは、物を考える時間が減るということでもあるんです。しかしね、こんないびつな状況は長く続かない。人間がほんとうに豊かになるための、今は過渡期だと私は思っていますよ。

石川九楊 ISHIKAWA Kyuyo

1945年 福井県生まれ。京都大学法学部卒業。書家・評論家。京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授。

歎異抄や源氏物語、万葉集などの日本古典、谷川雁や田村隆一、吉本隆明、吉増剛造の詩などを、書の枠組を超えた不思議な世界で描き出す。書の制作と書の理論的探究を同時に手がけている。

◎作品集、著書

『自選自註石川九楊作品集』(新潮社)、『石川九楊源氏物語書巻五十五帖』(求龍堂)、『石川九楊盃千字文』(ギャラリー白い点)、『中国書史』(京都大学学術出版会)、『日本書史』(名古屋大学出版会)、『近代書史』(名古屋大学出版会)、『書くー言葉・文字・書』(中公新書)、『漢字の文明 仮名の文化』(農山漁村文化協会)、『書 文字 アジア』(筑摩書房)他多数。近著に『名僧の書』(淡交社)。

◎受賞歴

大佛次郎賞(『近代書史』/2009)、サントリー学芸賞(『書の終焉ー近代書史論』/1990)、毎日出版文化賞(『日本書史』/2002)、京都府文化賞功労賞、京都新聞大賞文化学術賞、日本文化デザイン賞。

【講座情報】

デザイン学部・デザイン研究科教授 石川九楊連続 [公開] 講座 "Style."

誰がそれを美しいと決めたのか。

石川九楊氏の講義が一般公開されている。

【日時】

○大学院研究科 銷夏講座 8月28日(火)、29日(水)、30日(木)

●第4回 10月11日(木)

●第5回 11月08日(木)

●第6回 12月13日(木)

毎回13時～14時30分

【申込】 不要

【場所】 京都精華大学 春秋館 S-201 (予定)



デザイン学部の「文字」の授業

京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科グラフィックデザインコースでは、「文字」に関する授業を数多く行っている。



マンガ学部の新たな客員教授が決定！
みうらじゅん、東村アキコ、山田章博らが就任予定。

今の日本に「笑い」は絶対必要です。漫画はいつの時代も日本中の子供達に、そしていい大人達にもたくさんの笑いを与え続けてきました。ギャグマンガとは、読んだ人を笑わせようと思って描くのではなく、まず自分が楽しんで描くことが一番大事です。楽しんで描くためにはどうすればいいのか、それを私が学生の皆さんに教えられたらいいなと思っています。テクニックにとらわれず、プロになりたいという夢にがんじがらめにならないよう、自由な発想で漫画を描ける未来のギャグマンガ家を精華大学から輩出していけるよう頑張ります。



東村アキコ HIGASHIMURA Akiko

1975年、宮崎県生まれ。1999年、『ぶ〜け DX NEW YEAR 増刊』（集英社）にて「フルーツこもり」でデビュー。華やかな画風と鋭い人間観察に基づくストーリー展開で人気を集める。代表作は、『ママはテンパリスト』、『海月姫』など。『海月姫』はアニメ化され、第34回講談社漫画賞を受賞。現在、『かくかくしかじか』、『海月姫』、『主に泣いてます』を各誌にて連載中。『主に泣いてます』は7月よりフジテレビ系列でドラマ化されている。



東村アキコ『主に泣いてます』1巻（講談社）

授業

主としてギャグマンガ領域を担当。年2回程度の特別講義の開講を予定している。また、学生とともに作品をつくり上げるワークショップ形式での授業も。

あらゆるキャラクターの造形について、僕が経験した考える道筋と、手で表現する方法をお伝えしたいと思います。いかなる架空世界の住人も、現実と完全に無縁ではあり得ません。まず僕達の生きている世界から始めましょう。



山田章博 YAMADA Akihiro

1957年、高知県生まれ。現在、京都府在住。1981年、『月刊OUT増刊 ALLAN』にて「ばだんばだん」でデビュー。美しく繊細な筆致が特徴で、読者を陶酔させるような世界観のある作品を得意とする。国内外を問わず、多くのファンを持つ。代表作にマンガ『BEAST of EAST』、『ロードス島戦記〜ファリスの聖女』、小野不由美著『十二国記』の挿絵、アニメのキャラクターデザイン「ラーゼフォン」など、幅広く活躍。



©山田章博

授業

主としてキャラクターデザイン領域を担当。月1回程度、学生への作画指導のほか、多岐に渡るコンテンツ業界での経験等を講義する予定。

マンガ学部の新たな客員教授が決定！ みうらじゅん、東村アキコ、 山田章博らが就任予定。

京都精華大学マンガ学部は、2013年4月にギャグマンガコース、キャラクターデザインコースを新設。マンガに関わるあらゆる人材を育成することを目的に、コース編成、カリキュラムを改編することを発表している。今回新たに3名の客員教授の就任が決定。マンガ教育のトップランナーとして、ますますの進化を遂げようとしている。

人と同じようなことをする時期が過ぎると、人と違ったことを考えなきゃダメだって思う時期がやって来ます。ほとんどやり尽くされてるような気がしますが、隙間は必ずどこかにあるもんです。今から見つける癖をつけておく。それが私の授業です。



みうらじゅん MIURA Jun

1958年、京都市生まれ。武蔵野美術大学在学中に『月刊漫画ガロ』にてマンガ家デビュー。独特の世界観が人気を呼び、イラストレーター、作家、ミュージシャン、ラジオパーソナリティーなど幅広い分野で活動。1997年、みうら氏の造語「マイブーム」が流行語大賞受賞。著書、音楽、映像作品も多数。2003年にマンガ『アイデン&ティティ』、2009年には小説『色即ぜねれいしょん』が映画化された。



みうらじゅん『アイデン&ティティ』（角川文庫）

授業

年2回程度の特別講義を担当。マンガ学部だけでなく、他学部生も受講できる形式での開講を予定。



03 上賀茂神社を舞台に 芸術学部学生作品を展示

「上賀茂アートプロジェクト」が7月中旬、上賀茂神社にて開催された。これは世界遺産である上賀茂神社を舞台に、芸術学部の学生作品を展示するプロジェクト。祇園祭と時期を同じくした会期により、多くの観光客が作品に彩られた空間を楽しんだ。

01 アスタナ国際アクション映画祭に招待される



7月にカザフスタンで開催された「第3回アスタナ国際アクション映画祭」に、京都精華大学より教員・学生らが参加した。
同映画祭は、「9（ナイン）〜9番目の奇妙な人形」、「リンカーン／秘密の書」等の作品で知られる、ティムー

04 教員の活躍

著作をはじめ、展覧会、作品発表など、京都精華大学の教員の活躍を紹介する。

◎展覧会

「篠原ユキオ漫画展2012／肉球入魂」

篠原ユキオ（マンガ学部カートゥーンコース教員／マンガ家）

朝日新聞で4年間連載したペット1コマ漫画「肉球入魂」の原画と、新作を含めて約50点を出品。

開催期間 9月3日（月）〜8日（土）
会場 ギャラリー・オカベ
（東京都中央区銀座4-4-5）
問い合わせ 03-3561-1740

「荻原征弥・BELNE原画展―幻想神話を描く―」

荻原征弥、belne（ともにマンガ学部ストーリーマンガコース教員／マンガ家）

荻原征弥とbelne両氏の『幻想神話』をテーマとした作品の原画展。制作過程や制作道具なども展示。また、ライブイベントも開催（8月25日・9月15日）。

開催期間 8月25日（土）〜9月23日（日）
10時〜18時（入館17時30分まで）
休館日 毎週水曜日
会場 京都国際マンガミュージアム
2階 ギャラリー6

02 越後妻有アートトリエンナーレに芸術学部の学生が参加

世界有数の豪雪地・越後妻有地域の里山を会場に3年に1度開催される国際芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ」に京都精華大学の教員、学生らが「枯木又プロジェクト」として参加している。

「枯木又プロジェクト」とは、廃校となった新潟県十日町市立中条小学校枯木又分校を会場に、2009年よ

り継続しているアートプロジェクト。「循環する時」をテーマに、教員・在学生・卒業生が制作・展示、交流プログラムを展開する。アートによる枯木又分校の再生と枯木又集落との交流を目指した展示が行われている。

「越後妻有アートトリエンナーレ」
会期…9月17日（月・祝）

開催地…越後妻有地域（新潟県十日町市、津南町）

料金…一般3500円／高・専・大学生3000円／中学生以下無料
<http://www.echigo-tsumari.jp/>



「天国01」 belne
© belne

「sea-serpent」 荻原征弥
© 荻原征弥

◎著作（2012年5月〜8月発行）

「ダニ・カラヴァン―遠い時の声を聴く―」

酒井忠康（芸術学部客員教授／美術評論家）／未知谷

環境芸術の第一人者としてサイト・スペシフィック彫刻を牽引するダニ・カラヴァンへの言説。

「アニメと生命と放浪と―アトム」「タッチ」「銀河鉄道の夜」を流れる表現の系譜

杉井ギサブロー（アニメーションコース教員）／フニブックス

映画『グスコブドリの伝記』の監督が語る人生と芸術論。手塚治虫の思い出から、あだち充の「タッチ」アニメ化に潜んでいた狙い、3・11以後

2011年度決算について

2011年度の帰属収入は前年度から約3億7千万円減少し、約67億1千万円でした。このうち学生納付金は83%を占めています。この中から学内施設の諸改修工事や京都国際マンガミュージアム内レストランの改修工事等で約5千万円の施設関係支出を行いました。また、コンピュータ教室の設備更新、その他経常的な図書・備品の充実等で約8千万円の設備関係支出を行いました。さらに、前年度より開始した新校舎建築のための積み立て(第2号基本金組入)も行いました。これにより、当年度の大学の基本財産取得に関わる基本金組入額は約1億7千万円となりました。消費支出(人件費・経費等)は約62億円で、2011年度の消費収支は約3億4千万円の収入超過となり、この結果、累積消費支出超過額はおよそ30億5千万円に減少しました。支払資金(現金・預金)は前年比約2億1千万円減の約43億5千万円となりました。但し、支払資金の一部は借入金の返済に充てており、支払資金の減少額を上回る2億5千万円の負債が減少しました。以上の結果、自己資金率は1.1%増加し、80.8%となりました。

2011年度決算 2011年4月1日から2012年3月31日まで

資金収支計算書

収入の部		金額
科目		
学生生徒等納付金収入		5,536,310,000
手数料収入		52,914,681
寄付金収入		27,369,000
補助金収入		649,297,472
国庫補助金収入		648,986,682
地方公共団体補助金収入		310,790
資産運用収入		91,628,943
資産売却収入		400,697,080
事業収入		231,798,550
雑収入		111,756,084
前受金収入		1,380,100,170
その他の収入		264,139,329
資金収入調整勘定		△1,548,366,458
前年度繰越支払資金		4,563,205,898
収入の部合計		11,760,850,749
支出の部		金額
科目		
人件費支出		3,232,618,646
教育研究経費支出		1,366,244,069
管理経費支出		668,578,020
借入金等利息支出		64,421,732
借入金等返済支出		282,470,000
施設関係支出		49,848,880
設備関係支出		76,231,392
資産運用支出		1,553,315,768
その他の支出		228,251,646
資金支出調整勘定		△114,540,553
次年度繰越支払資金		4,353,411,149
支出の部合計		11,760,850,749

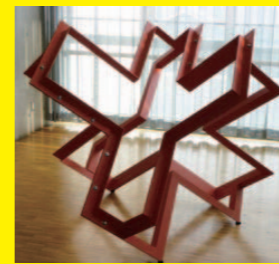
消費収支計算書

消費収入の部		金額
科目		
学生生徒等納付金		5,536,310,000
手数料		52,914,681
寄付金		31,417,985
補助金		649,297,472
国庫補助金		648,986,682
地方公共団体補助金		310,790
資産運用収入		91,628,943
資産売却差額		640,000
事業収入		231,798,550
雑収入		111,756,084
帰属収入合計		6,705,763,715
基本金組入額合計		△166,672,576
消費収入の部合計		6,539,091,139
消費支出の部		金額
科目		
人件費		3,278,481,560
教育研究経費		2,076,875,133
管理経費		711,132,186
借入金等利息		64,421,732
資産処分差額		55,103,398
徴収不能額		13,674,950
消費支出の部合計		6,199,688,959
当年度消費収入超過額		339,402,180
当年度消費支出超過額		0
前年度繰越消費支出超過額		3,388,421,177
翌年度繰越消費支出超過額		3,049,018,997

07

キャリア支援

京都精華大学4年生の就職活動が好調だ。7月末現在の数字では、全学部合わせて内定者数が前年比15.1%となっている。デザイン学部では、前年



「虚像」中嶋悠輔

- ◎西宮市展賞
- 中嶋悠輔
- (芸術研究科修士課程1年生)
- ◎西宮市大谷記念美術館賞
- 鎌田祥平
- (芸術研究科博士後期課程 単位取得満期退学)
- ◎西宮市展若手奨励賞
- 児玉毅
- (芸術学部立体造形コース4年生)
- ◎入選
- 大島雅人
- (芸術学部立体造形コース卒業)
- 増野智紀
- (芸術研究科修士課程 修了)

比21.4・3%と好調。カプコンやコナミデジタルエンタテインメントなどのゲーム会社のほか、ワコール、博報堂プロダクツ、ブラザー工業などの大手企業、面白法人カヤック、サイバーエージェントなどの業界最先端企業への内定が目立つという。キャリア支援課では、「2011年からスタートさせたキャリアデザインセンターの取組みがたちになってきた」と語っている。

05 「第64回三軌展」で受賞

日本で宮沢賢治作品の岩手(イーハトーブ)を描くことの意味を語る。「ミュージコフィリア」4巻 さそうあきら(ストーリーマンガコーズ教員/マンガ家)/双葉社 『Web漫画アクション』にて連載中。美しい風景や音であふれる京都を舞台に、芸大生たちが新しい音楽を鳴り響かせる——。第4巻。

芸術学部陶芸コース4年生の平井秀さんと中村正治さんが、公募展「第64回三軌展」の工芸部門において、それぞれ新人賞と佳作賞を受賞した。

- ◎新人賞(杜陵賞)
- 平井秀
- ◎佳作賞(S氏賞)
- 中村正治

06 大学院芸術研究科生が「西宮市展賞」を受賞

西宮市主催の公募展「第62回西宮市展」(彫塑・立体部門)において、大学院芸術研究科1年の中嶋悠輔さんが西宮市展賞を受賞。そのほか、在学生・卒業生が多数入賞・入選した。入賞者は下記の通り。



- 20-21 研究室探訪 Laboratory / 教員のブックレビュー Book Review / セイカ事典 Cycloedia
- 22 イベント紹介 Event
- 23 精華で学びたい方へ Information
- 24-26 京都精華大学の原点 / ○○を語れ Column



「よそおい果実」望月理沙（2011年度 テキスタイルコース卒業制作）

貸借対照表 2012年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	24,533,685,707	24,069,390,340	464,295,367
有形固定資産	17,966,906,799	18,617,878,009	△ 650,971,210
土地	4,228,370,256	4,228,370,256	0
建物	11,338,657,814	11,788,113,329	△ 449,455,515
構築物	359,597,674	423,825,337	△ 64,227,663
教育研究用機器備品	946,071,120	1,086,465,825	△ 140,394,705
その他の機器備品	24,700,118	30,048,684	△ 5,348,566
図書	1,069,452,580	1,054,437,457	15,015,123
車輛	57,237	400,621	△ 343,384
建設仮勘定	0	6,216,500	△ 6,216,500
その他の固定資産	6,566,778,908	5,451,512,331	1,115,266,577
電話加入権	3,633,424	3,633,424	0
ソフトウェア	11,276,612	12,846,928	△ 1,570,316
有価証券	1,851,606,931	2,224,341,531	△ 372,734,600
長期貸付金	307,680,891	316,739,398	△ 9,058,507
退職給与引当特定資産	1,236,092,000	1,235,492,000	600,000
減価償却引当特定資産	2,795,451,000	1,397,421,000	1,398,030,000
第2号基本金引当資産	198,599,000	98,599,000	100,000,000
第3号基本金引当資産	150,000,000	150,000,000	0
保証金	12,439,050	12,439,050	0
流動資産	4,611,232,308	4,817,051,404	△ 205,819,096
現金預金	4,353,411,149	4,563,205,898	△ 209,794,749
未収入金	165,823,938	203,847,465	△ 38,023,527
貯蔵品	5,460,491	3,715,048	1,745,443
短期貸付金	34,421,920	30,872,020	3,549,900
立替金	15,756,626	3,087,637	12,668,989
前払金	35,401,262	10,635,950	24,765,312
仮払金	956,922	1,687,386	△ 730,464
資産の部合計	29,144,918,015	28,886,441,744	258,476,271

2012年度予算について

2012年度は来年度に控えるポピュラーカルチャー学部やデザイン学部イラスト学科等の設置に向けて施設や設備を整備し、さらに広報等も展開していけるよう、臨時の予算を計上しています。また、自動火災報知機設備及び非常放送設備の改修や7号館トイレ、本館講義室の改修等を行います。それらの結果、単年度の消費収支は基本財産取得に関わる基本金組入等を含み1億1千万円程度の支出超過予算となっています。しかしながら、支払資金(現金・預金)は2011年度に比べて約3億1千万円増の約46億6千万円となっています。今後、上述の新学部、新学科等の設置によって単年度収支が支出超過に転じますが、学年進行とともに新学部の収支は回復させていく計画です。また、既存の各種事業の見直しを併せて行い、適正に予算を配分する等、財政の安定化に向けた努力を継続していきます。

2012年度予算 2012年4月1日から2013年3月31日まで

資金収支予算書

(単位:円)

収入の部		金額
科目	金額	
学生生徒等納付金収入		5,221,051,000
手数料収入		52,200,000
寄付金収入		30,000,000
補助金収入		546,310,000
資産運用収入		90,910,000
資産売却収入		600,000,000
事業収入		224,020,000
雑収入		60,241,000
前受金収入		1,867,482,000
その他の収入		212,087,558
資金収入調整勘定		△ 1,480,100,170
前年度繰越支払資金		4,353,411,149
収入の部合計		11,777,612,537
支出の部		金額
科目	金額	
人件費支出		3,098,603,000
教育研究経費支出		1,315,404,000
管理経費支出		650,497,000
借入金等利息支出		56,520,000
借入金等返済支出		282,290,000
施設関係支出		67,835,000
設備関係支出		52,768,000
資産運用支出		1,600,000,000
その他の支出		127,704,603
(予備費)		0
資金支出調整勘定		△ 135,401,262
次年度繰越支払資金		4,661,392,196
支出の部合計		11,777,612,537

(単位:円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,588,952,579	3,825,379,665	△ 236,427,086
長期借入金	2,233,160,000	2,515,450,000	△ 282,290,000
退職給与引当金	1,355,792,579	1,309,929,665	45,862,914
流動負債	2,013,250,231	2,024,421,630	△ 11,171,399
短期借入金	282,290,000	282,470,000	△ 180,000
未払金	104,055,323	127,538,145	△ 23,482,822
前受金	1,380,100,170	1,388,278,900	△ 8,178,730
預り金	246,804,738	226,134,585	20,670,153
負債の部合計	5,602,202,810	5,849,801,295	△ 247,598,485
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	25,776,135,202	25,709,462,626	66,672,576
第2号基本金	198,599,000	98,599,000	100,000,000
第3号基本金	150,000,000	150,000,000	0
第4号基本金	467,000,000	467,000,000	0
基本金の部合計	26,591,734,202	26,425,061,626	166,672,576
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	3,049,018,997	3,388,421,177	△ 339,402,180
消費収支差額の部合計	△ 3,049,018,997	△ 3,388,421,177	339,402,180
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	29,144,918,015	28,886,441,744	258,476,271

消費収支予算書

(単位:円)

消費収入の部		金額
科目	金額	
学生生徒等納付金		5,221,051,000
手数料		52,200,000
寄付金		33,700,000
補助金		546,310,000
資産運用収入		90,910,000
資産売却差額		7,200,000
事業収入		224,020,000
雑収入		60,241,000
帰属収入合計		6,235,632,000
基本金組入額合計		△ 479,093,000
消費収入の部合計		5,756,539,000
消費支出の部		金額
科目	金額	
人件費		3,138,303,000
教育研究経費		1,924,004,000
管理経費		695,197,000
借入金等利息		56,520,000
資産処分差額		40,243,000
徴収不能額		12,000,000
(予備費)		0
消費支出の部合計		5,866,267,000
当年度消費支出超過額		109,728,000
前年度繰越消費支出超過額		3,049,018,997
翌年度繰越消費支出超過額		3,158,746,997

セイカ事典 か行

京都精華大学に関わりの深い人、事、物を解説する。

か

笠原芳光【かさらはよしみつ】

1927-。宗教思想家。広く自由な立場から思想、芸術、文学などを論じる。1969年から99年まで英語英文科、人文学部に在籍。学長、理事長なども歴任した。

き

木野祭【きのさい】

1968年短大創立当初からつづく、秋に開催される学園祭。在学生の手によって運営される。数々の伝説のライブを生んだ。名称は、大学の所在地である岩倉木野町にちなむ。

木野評論【きのひょうろん】

1969年創刊。学術論文による紀要ではなく、学問分野や領域にとらわれない評論集として学内教職員が執筆した。現在は休刊中。

く

孔雀【くじやく】

1997年9月、小豆島観光開発より孔雀を寄贈される。現在3羽が生存。学生のデッサンモデルとして活躍。

け

建築学科【けんちくがつか】

デザイン学部のいち学科。1987年の「アーバンリビングデザイン分野」開設を経て、現在に至る。上田篤氏、高松伸氏ら著名建築家が在籍した。

こ

光彩館【こうさいかん】

1993年竣工。テキスタイルコースの学舎。地下1階から3階建て。織り機18台、蒸し機2台、染め工房、水場などの設備がそろわ。



研究室探訪

先生の研究室、授業を訪ねて。

マンガ学部カートゥーンコース 篠原研究室

篠原ユキオ

マンガ学部カートゥーンコース教員。新聞のヒトコマ漫画を中心にユーモアイラストやエッセイなどを発表する。9月3日より銀座4丁目の「ギャラリー・オカベ」にて個展を開催。

今春まで朝日新聞で人気連載を5年続け、現役のマンガ家として40年以上活躍している篠原ユキオ先生。マンガを描き続ける苦労は誰よりも知っている。だからこそ、授業は厳しい。

篠原先生が教えるのは、カートゥーンコース。授業では、先生が毎週、課題を出し、学生らはテーマに沿って、社会に対する鋭い視線とメッセージをユーモアで表す、風刺画を描く。課題を出した翌週に講評、その日にまた課題を出して翌週に講評。年間30週、毎週さまざまなテーマで絵を描く学生にとってもハードだが、すべての作品にコメントをする先生にとってもハードな授業スタイルだ。

課題には、時事ネタも交える。常に時代の流れに敏感でいてほしいというメッセージの現れだ。「課題を考えるほうも大変ですが、新しいテーマを考えるのは楽しいですよ」。自分自身に

も取ってハードルを課し、その状況を楽しむ先生のエネルギーは計り知れない。

また、学生へのアドバイスの仕方にも、笑いを追及してきたマンガ家ゆえの視点が光る。

「僕は、基本的に教員はマンガの下描きは見ないほうがいいと思っっているんです。完成までに何回も見ていると感動しなくなって、こうしたほうがいい、とこねくり回しているうちに誰も笑わなくなることがある。相手を驚かさそうとする攻め手と、初めて作品を見る受け手のコミュニケーションが笑いにつながるから」。

学生の作品を見過ぎるのはよくないと断言しながらも、篠原研究室にはひっそりなして学生が訪れる。そこには、作品をはさんで何時間も学生の話に耳を傾ける篠原先生の姿がある。

Book Review

教員のブックレビュー

芸術学部・北野裕之先生が選ぶ「僕のアメリカ滞在をより楽しくさせた」本

9年前にアメリカのロードアイランドへ1年留学したんです。その時に読んだ本が制作にいい影響を与えてくれました。

まず「やがて哀しき外国語」は著者の村上春樹さんがアメリカ滞在中に書いたもの。より深くアメリカ文化を知るのに役立ちました。しばらく向こうで暮らしていると、アメリカにも日本のように建前があることがわかってきます。初めて会った人には威圧感を与える話し方をしてはいけないとか、教授は疲れた顔を見せてはいけないとか。イメージしていた陽気なアメリカ人ばかりではなかったんです。ロードアイランドには礼儀正しい人が多かったこともあるかもしれないけど、僕が

全然知らなかったアメリカのルールが実はあって、みんな決まりから外れないようにしていたんですね。

同時期に「遠い太鼓」も読みました。この本には日常が描かれているだけなんです。ただ、これを日本で読むのと海外での経験と照らし合わせながら読むのでは違うだろうな、と。読み進めていくと自分も場所を変えながら旅をしている気分になって、アメリカの旅とヨーロッパの旅と2つの旅をしているような感覚になりました。村上さんが海外で何を感じて作品を書き進めているのかということが、留学先で制作を進める自分と重なり、興味深かったですね。

自分の美意識や制作にも影響を与えてくれたのは3冊目の谷崎潤一郎の「細雪」です。この本で流れるような日本語の美しさに触れました。文中に

は彼の美意識が盛り込んであって、上流階級の暮らしを通じての料理、遊び、着物、扱う道具について研ぎ澄まされた描写がなされています。

ロードアイランドに行くまでは、日本のなものを作品に取り込もうとは思ってなかったんです。ところが、向こうで読んだ邦書や生活が、なにかと自分のアイデンティティや日本を意識させました。帰国してからは、日本のなものを意識的に作品に取り込んで、桜を撮った作品を制作しました。アメリカ滞在中に、自分と向き合い、日本についてや制作の方法論を改めて考える時間が持てたことは大きかったですね。



北野裕之

芸術学部版画コース教員。写真を使った作品制作やデジタル技術を通じた版画作品を制作・研究している。国内外の展覧会に出展。



『やがて哀しき外国語』
村上春樹
(講談社文庫)

2編の長編小説を書きあげることになったアメリカでの生活を、2年にわたり日本の読者に送り続けた16週のプリンストン便り。



『遠い太鼓』
村上春樹
(講談社文庫)

「ノルウェイの森」、「ダンス・ダンス・ダンス」を執筆した3年間をつづったギリシャ・イタリア滞在記。



『細雪 (上・中・下)』
谷崎潤一郎
(新潮文庫)

大阪船場に暮らす商家の4人姉妹の恋愛、結婚を中心に、昭和10年代の上流社会の生活を四季折々に描き込んだ絢爛たる小説絵巻。

イベント紹介

京都精華大学に関係するイベントをご案内します。一般の方も聴講、参加いただけます。

◎人文学部主催講演会

「嘉田由紀子講演会」

「地方自治体から発信する共助の思想―自助と公助のあいだで―」
滋賀県知事の嘉田由紀子さん（元京都精華大学人文学部教授）を招いての講演。

【日時】 10月8日（月・祝）
16時30分～18時

【場所】 京都精華大学 明窓館M-201
【申込】 不要

◎大学院芸術研究科・特別講義

「パオロ・ローザ氏講演会」

イタリアのメディアアートを代表する作家グループ「スタジオ・アズーロ (Studio Azzurro)」のリーダーのパオロ・ローザ氏を招き、過去の代表作品の紹介や9月から川崎市民ミュージアムで開催する展覧会での新作について講演を行う。

【日時】 9月25日（火）

【場所】 京都精華大学（教室未定）
【申込】 不要

◎短編映画祭

「京都メディアアート週間 2012」

現代ヨーロッパの映像作家の作品を代表的なフェスティバル・短編映画祭

画祭の巡回プログラムによって紹介。また、全国の映像系の大学・短大・専門学校で学生選抜作品も上映する。

【日時】 10月19日（金）～21日（日）
11時～20時

【場所】 COCON KASASUMA 3階
京都精華大学サテライト
スペース「Kara-S」

◎五十嵐大介原画展

「海獣とタマシイ」 ～五十嵐大介の世界～

マンガ家・五十嵐大介氏の代表作である「海獣の子供」「魔女「SARU」のカラーおよびモノクロ原画約20点の展示を予定。

【日時】 9月9日（日）10時～18時
（入館は17時30分まで）

【休館日】 毎週水曜ただし8月22日（水）は開館

【場所】 京都国際マンガミュージアム
1階 エントランス

◎ギャラリーフロール展覧会

京都精華大学が運営する大学ギャラリーでの展覧会。

「記憶の標本」

芸術学部映像コースの在学生による申請展。

【日時】 9月25日（火）～10月10日（水）

「版画の未来図とグローバルウィジョン」

芸術学部版画コースの教員による申請展。

【日時】 10月15日（月）～27日（土）

「第15回華道同好会華展「つながり」」

華道同好会による展覧会。

【日時】 11月1日（木）～3日（土・祝）

「Domestic and abroad」

本学主催の企画展。海外での留学や制作経験のある日本人作家複数名が出品予定。

【日時】 11月7日（水）～12月6日（木）

ギャラリーフロール

【開館時間】 10時30分～18時30分

【休館日】 日曜日・祝日ほか

【場所】 京都精華大学 明窓館1階
詳細はギャラリーフロール

Webサイトまで

www.kyoto-seika.ac.jp/fleur/

Information

精華で学びたい方へ

京都精華大学が行う受験生・高校生向けイベントを紹介いたします。

2013年度 入学試験のおしらせ

2013年度入学者を対象とする入学試験を行います。

■AO入試2期

AO入試とは、実技試験の出来だけでなく、課題に取り組む姿勢やコミュニケーション能力、自己プレゼンテーション能力を評価する入学試験です。ワークショップに参加し、自分に合った学びの環境であるか、受講生自身も判断できます。エントリーは無料です。

【試験実施学科・コース】

ポピュラーカルチャー学部（音楽コース・ファッションコース）、芸術学部（日本画コース・立体造形コース・陶芸コ

ス・テキスタイルコース・版画コース・映像コース）、デザイン学部（イラストコース・グラフィックデザインコース・デジタルクリエイションコース・プロダクトコミュニケーションコース・ライフクリエイションコース・建築コース）、人文学部（総合人文学科）

【エントリー期間】

9月4日（火）～13日（木）

※9月14日（金）のみ17時まで窓口持参可

【ワークショップ実施日】

9月22日（土）・23日（日）

【出願可否通知】

9月28日（金）

【出願期間】

10月1日（月）～9日（火）

【合格発表】

10月15日（月）

■公募制推薦入試

出身学校長の推薦により、現役生・既卒生を問わず受験できる入学試験。実技・学科試験など受験コースによって合格判定を行います。

【試験実施学科・コース】

すべての学部・学科・コース

【出願期間】

11月1日（木）～6日（火）

【試験日】

11月16日（金）・17日（土）

【合格発表】

11月27日（火）

東京・名古屋・広島にて 入試を実施

公募制推薦入試、一般入試A日程では、京都会場（本学）のほかに東京・名古屋・広島の3会場でも入学試験を行います。

「面接・作品審査」以外の実技試験や学科試験を実施しますので、お近くの試験会場を出願時に指定することができます。

会場や実施試験については、9月上旬発行の「2013年度入学試験要項」にてお知らせします。

10月にオープンキャンパスを 開催

今年最後のオープンキャンパスを10月に行います。

日時：10月7日（日）
10時～16時（受付9時30分～）

場所：京都精華大学

内容：各コースワークショップ、キャンパスツアー、入試ガイダンス、個別相談など



オープンキャンパス Webサイト
www.kyoto-seika.ac.jp/opencampus

※詳細はオープンキャンパスWebサイトでお知らせします。

資料請求について

京都精華大学のパンフレット、入試の案内、オープンキャンパスの案内が必要な方は、左記連絡先かWebサイトより資料をご請求ください。



受験生フリーダイヤル 0120-075017
nyushi@kyoto-seika.ac.jp

京都精華大学を支える教育理念は、初代学長・岡本清一によって提示された。もちろんそれは、そのときどきを担うひとびとによって新しい理解を加えられ、生きた教育活動として展開してきた。しかし、ここでもう一度、岡本清一の遺したことばに立ち返ってみよう。それは、現在の大学を検証し、未来へのいつそうの飛躍をはかる跳躍台となるだろう。

① 「自由自治」

岡本清一と京都精華大学の理念
京都精華大学といえば「自由自治」ということばを抜きにして考えることはできない。すべての活動の指針として、ことある毎に「自由自治」が語られてきた。このことばは京都精華大学の代名詞といっても過言ではない。

「学内における学生の自由と自治は尊重され、その精神の涵養がはかられる。従って学生は、学内の秩序と環境の整頓に対して責任を負わなければならない。」
〔教育の基本方針に関する覚書〕より

高く自由自治精神の旗を掲げるわれわれの大学においては、いわゆる当局と大学人の間に、また大学の構成要素としての教員、職員、学生の三者の間に、いかなる秘密もあつてはならず、そして学生もまた大学全体の運営から遮断されることなく、自

治能力の開発をはかりつつ、その分限に応じて、これに関与することが望ましいと考えられている。大学におけるすべての機会は、環境と研究のためにこそ生かされるべきものである。かくしてこの大学は、教員のものであり、また職員のものであると同じように、学生のものである。そこにおいては学生の大学に対する疎外感、生まれず、すなおな母校愛が成立するにちがいない。

いま大学を志している諸君のなかに、もし、このような大学の在り方に共感する人があるならば、この新しい大学づくりの協働者として、いっしょに腕をくんでいきたい。そしてこの白い画布に大学の理想を描いていくのではないか。

〔1969年「大学案内」より〕

② 「人間尊重」

岡本清一は、教員と職員、そ

そして教職員間の完全平等性に対して、いくらかの逡巡があつた。しかしそれも数年にして自然に克服され、この平等制こそが、学生が人格的に尊重されることの基礎条件であることが理解された。したがって、たとえ

この保障であると考えられてきた。
〔2002年「大学の志操」より〕

ばもし、日本のどこかに、学生が教職員とは、別の食堂を利用しなければならぬというような大学があるとすれば、それは最低の大学だと考える考え方が定着した。この人格的平等主義の実践は、人種的、民族的、社会的差別をみとめない思想を、学問、研究の出発点となしうる

岡本清一は京都精華短期大学学長就任にあたって、他にない、まったく新しい大学の創造を構想した。それは岡本自身が「私どものような考え方をしている者を、みんな変なおかしな奴だ」というにちがいありません」
〔1978年「大学社会とその教育を改革するために」〕と認めるほど、一般的な大学像と大きく乖離していた。もちろん岡本

からすれば、京都精華大学だけが、他大学がおよびもつかない、高みをめざしているのだった。岡本は、機会ある毎に「自由自治」の精神に貫かれた、あるべき大学の姿を熱く語り続けた。京都精華大学はその理想のもとに生まれ、理想を追求し続ける大学だ。岡本清一のことばは、そのときどきに集った人々によって教育活動として展開されることによって、継承されている。岡本清一のことばは朽ちることなく、京都精華大学のゆくべき道をはっきりと指し示している。

過去から断絶している。そして教師も学生もすべて、まず人間として尊重され、自由と自治の精神の波うつ新しい大学を、これから創造していこうとしているのである。

この大学の理念のもとに、今日の「失われた大学教育」を京都の地において回復することに、われわれは使命を感じている。この新しい大学創造の仕事を担当しようとする学生諸君！諸君の参加をわれわれは待っている。
〔1968年「大学案内」より〕

③ 「人格的平等主義」

大学闘争が全国を席卷する時代に創立を迎えた京都精華短期大学において、岡本清一は旧弊な大学システムを克服しようとした。とりわけ教員―職員―学生という「身分制」の打破は最重要課題であった。

一九六八年、この大学が設立されたとき、われわれ教職員と学生とは、いくつかの誓いを立てた。その第一は、自由自治主義の旗のもとに、人格的平等主義の研究教育集団としての大学をつくるということであった。しかしはじめは、この教員間の、



岡本清一の略歴
1905年 4月26日京都府北桑田郡宇津村(現・京北町)に生まれる。
1927年 同志社大学法学部法律学科入学
1930年 同上卒業
里美日本文化化学研究所助手
1931年 同上退職
1938年 外務省調査部嘱託
1943年 同上退職
1946年 同志社大学入職
1966年 同志社大学退職
京都市長選出馬、落選。
1968年 京都精華短期大学教授
京都精華短期大学学長(～71年12月)
1979年 京都精華大学短期大学部教授
1989年 京都精華大学人文学部教授
1990年 京都精華大学退職
京都精華大学名誉教授
2001年 1月10日老衰のため死去享年95歳。
(太田雅夫さん作成のものを編集させていただきました)

京都精華大学とは

京都精華大学は表現の大学です。2013年4月にポピュラーカルチャー学部を開設。さらに、デザイン学部にはイラスト学科、マンガ学部にはギャグマンガコース、キャラクターデザインコースを新設します。芸術、デザイン、マンガ、人文あわせて5学部編成となり、新しい文化と社会を創造する人材育成をさらに進化させていきます。

ご支援くださるみなさまへ ～ご寄付のお願い～

様々な支援に関して、ご寄付のご協力をお願いしております。

「学生奨学金制度への支援」、「学生生活への支援」、「文化振興活動への支援」、「国際交流活動の支援」、「教育・研究設備整備事業への支援」より寄付用途を選んでいただき、みなさまのご意向にかなう運用をしています。お申し込みは、銀行窓口、もしくは、インターネット上でのクレジットカード決済にてご寄付いただけます。

この寄付金は、文部科学省から「特定公益増進法人であることの証明書」の交付を受けており、税金控除の優遇措置を受けることができます。詳細につきましては寄付募集 Web サイト、リーフレットをご覧ください。

●寄付募集 Web サイト

www.kyoto-seika.ac.jp/donate

●お問い合わせ

京都精華大学企画室寄付募集担当

TEL : 075-702-5201 / FAX : 075-702-5391 E-mail : kikaku@kyoto-seika.ac.jp

◎卒業生の方へ

「木野通信」送付先住所の変更は、企画室・木野会事務局までご連絡ください。

E-mail : kinokai@kyoto-seika.ac.jp FAX : 075-072-5391

木野通信

55

木野通信 第55号

2012年8月20日 発行

京都精華大学 入試広報部 広報課

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

TEL : 075-702-5197

www.kyoto-seika.ac.jp

木野通信とは、京都精華大学が年4回発行する広報誌です。

京都精華大学

ポピュラーカルチャー学部 (2013年4月設置予定) / 芸術学部 / デザイン学部 / マンガ学部 / 人文学部

〇〇を語れ 第2回 『表現』

京都精華大学にまつわるキーワードを世界中から集める企画。

京都精華大学は「表現の大学」だ。学生らは、絵、言葉、写真、映像など、さまざまな手段でメッセージを表現している。学生が日夜対峙している「表現とは」という問い。もちろん答えはひとつではない。世の中に数多くある「表現」についての言説を集め、紹介する。

表現の真実
（太宰治『火の鳥』）

真実は行為だ。愛情も行為だ。

社会に対して、ぶつけたいメッセージがある。言わずにはいられない。表現のスタイルが決まってくる。内容が形を決めるんだ。どう表すか。それは自分次第。無限の自由がある。
(岡本太郎 「壁を破る言葉」)

いわば下着は、私にとって自分の心理を表現するタブローである。

そして社会を見るフィルターでもある。

私の心はまるで砂漠の哲学者のように下着をモチーフにしてしずかに沈潜していった。

(鴨居羊子 「女は下着でつくられる」)

偏見に立ち向かう戦いがすみやかに成功できないのは当然のことなのだ。だが、われわれは、日常の生活の中からあらゆる機会をつかまえて真実を表現していくことで、ゆっくりとではあっても成功を勝ち取っていくことはできる。
(アインシュタイン 「教育について」)

人間一人の心を動かす為
概念にとらわれず
CKBで表現するんだ
(クレイジーケンバンド 「SOUL 通信」)

化粧は女の社会的地位を表現するものである。
(ポーヴォワール 「第二の性」)

僕は仕事って、自分を表現することだと思っ
ています。
アーティストや芸術家は、絵や音楽、文章、身体表現などで、直接的に自分を表現しますが、会社に勤める人だって同じだと思えますね。
(日比野克彦 「プロ論」)

質問は、質問する人を表現するんだ。それに対する返答なんかとは無関係にね。
(森博嗣 「夏のレプリカ」)

宵闇の街に立っ
ていても彼女は派
手で、浮いて
いた。黒いスー
ツを着て、雑踏
にまぎれても、
何か切実な、そ
れでいてさりげ
ないものをも
しだしていた。
表現している、
と私は思った。
生きていただけ
で、絶え間なく
表し続けている。
(中略)
何が起ころう
と絶対に敗者に
ならないのが彼
女の人生の昔か
らのやり方だっ
た。
事実や内心がど
うあれ、態度と
して、表現とし
て。
(吉本ばなな 「アムリタ」)

お笑い、人間が不完全であることを、表現する職業だと思う。そして、その不完全さを愛しているのが、お笑いだと思う。
(太田 光 「爆笑問題の三三七拍子」)